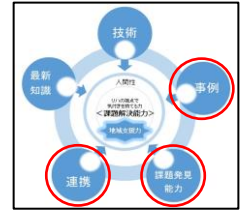


## コミュニケーション支援コース(定員：30名)

神経難病や重度障害を抱えていてもパソコンやタブレットなどのIT機器、様々な入力スイッチを使用することで、コミュニケーションを取ることが可能です。

また、それらを用いることにより、仕事の継続や余暇時間を充実させることができます。最近では子どもの反応を確認したり、発達を促すことに活用されている例もあります。

研修ではIT機器や入力スイッチ等を用いたコミュニケーション支援について学び、各支援者が実践と結び付けることを目的とします。



【会場】 滋賀県福祉用具センター介護実習室

| 日   | 時 | 内 容   | 講 師                           |
|---|---|---|-------------------------------|
|   |   | 『生活を豊かにするICT支援』   |                               |
| 令和6年<br>10月19日(土)<br>14:00~16:30<br>(受付 13:45~) |   | 「コミュニケーションを支援するために必要な理念と知識と技術～コミュニケーション支援が生活に根付く過程から考える～」 | 株式会社アシテック・オコ<br>作業療法士 小林 大作 氏 |
|   |   | (仮)「日常生活の中のICT」   | 当事者の方                         |
|   |   | ICT機器の展示  | 体験コーナー                        |

●対象者：難病患者の方、障害児者の方を支援されている  
医療・介護・障害・学校・就労支援機関等の方 ※職種は問いません

●申込締切り：令和6年10月4日(金)まで 【先着順】

★申込方法：下記URL または二次元コードから受付フォームにアクセスし、お申し込みください。

URL：<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/reiwa6nenndokomixyusienn>

【二次元コード】



※日本作業療法士協会生涯教育制度申請予定

※日本理学療法士協会登録理学療法士更新ポイント申請予定

担当：奥村